

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第22号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用 武史

はじめに

高知県・高知県議会との連携推進会議

高知大学は平成24年12月13日に高知県と包括的連携に関する協定を締結しております。その目的として、両機関が地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することとしております。目的の実現のため、締結後、本学理事と県の幹部および県議会議員との連携推進会議が2月22日と3月1日に実施されました。

高知県と本学は従前から様々な場面で連携してきております。今回の協定締結を機に、より有機的かつ組織的な連携が図られることが期待されます。

高知県と国立大学法人高知大学との包括的連携に関する協定書

高知県と国立大学法人高知大学(以下「両機関」という。)は、相互の連携により、地域社会の発展に資するため、次のとおり協定を締結する。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、両機関記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

(目 的)

第1条 本協定は、両機関が包括的連携のもと、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的とする。

平成24年12月13日

(連携事項)

第2条 両機関は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携し協力する。

- (1) 両機関が有する知的資源、人的資源及び物的資源の活用に関すること。
- (2) 両機関が共同で実施する事業に関すること。
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

高知県知事

国立大学法人高知大学長

尾崎正道 高知県知事 船江光 国立大学法人高知大学長

(連携推進会議)

第3条 前条の連携事項を円滑に推進するため、連携推進会議を設置する。

- 2 連携推進会議に、必要な事項は別に定める。

(守秘義務)

第4条 両機関は、本協定に基づく活動において、相手方より知り得た秘密事項について、第三者に対し開示又は漏洩してはならない。ただし、事前に相手方の承認を得た場合は、この限りではない。

(その他)

第5条 本協定に定める事項について疑義が生じたとき又は本協定に定めのない事項について必要があるときは、両機関が協議して定める。

PDF ファイルは本学グループウェアのライブラリから見る事が出来ます。

目 次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 第1期 土佐 FBC 完結

p3 産学官連携部門

Topic1. 技術展示会情報 (出展の御願い)

p4 知的財産部門

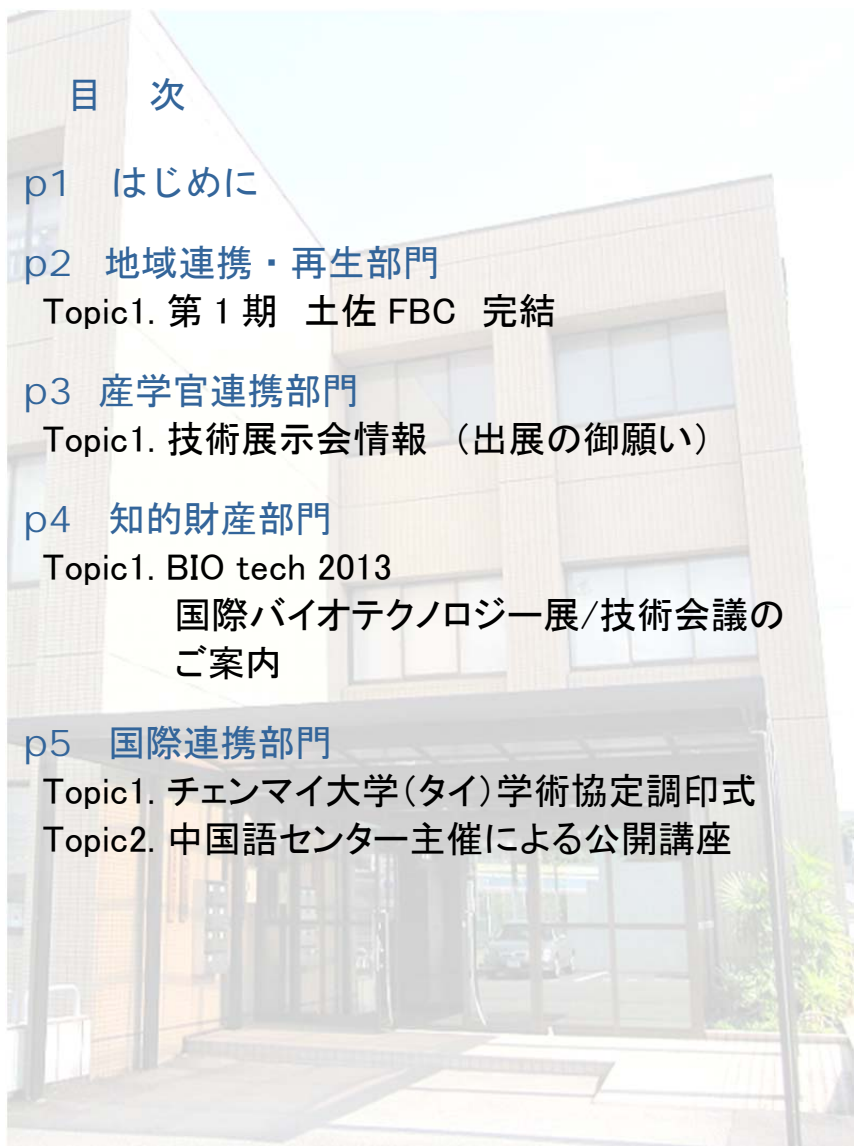
Topic1. BIO tech 2013

国際バイオテクノロジー展/技術会議のご案内

p5 国際連携部門

Topic1. チェンマイ大学(タイ)学術協定調印式

Topic2. 中国語センター主催による公開講座



Topic 1. 第 1 期土佐FBC 完結 ～平成 24 年度 土佐FBC修了式・成果発表会～

本学が実施する県内の食品産業人材育成事業である「土佐フードビジネスクリエーター人材創出(土佐FBC)」の第 5 期生の修了式及び成果発表会を開催しました。

<修了式>

日時:平成 25 年 3 月 15 日(金)

13 時～13 時 20 分

場所:高知大学メディアホール

修了生:36 名



<成果発表会>

日時:平成 25 年 3 月 15 日(金) 14 時～17 時 10 分

場所:高知大学メディアホール

基調講演

(株)なかじま企画事務所 代表取締役社長 中島 和代

「地方発、商品開発の課題 ～土佐 FBC の成果に見るネットワークの力～」

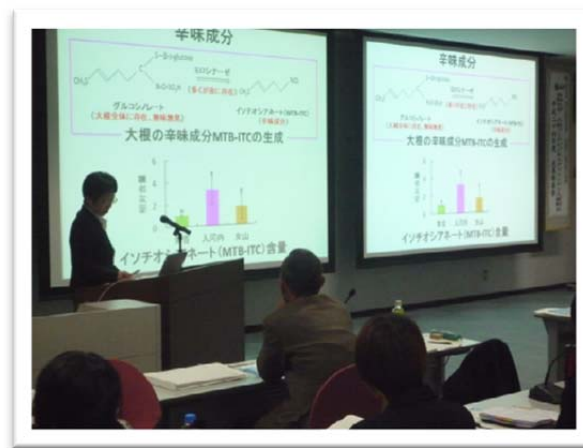
成果発表

高橋 拓也 「高知県産小麦の可能性」

島津 光江 「入河内大根のブランド化及び加工に向けた食品化学的特性の把握」

長野 明日香 「土佐 FBC より広がる未来」

兼松 伸幸 「地元食材×食品加工×人材=∞(インフィニティ)」



文部科学省の科学技術戦略推進費による補助を受け、平成 20 年度から実施した本事業は、5 年目となる平成 24 年度にて文部科学省からの補助期間を終えることとなります。平成 25 年 4 月以降は、土佐 FBC の第 2 期目と捉え、高知県からの寄附講座として継続する準備を整えております。高知県の食品産業の一層の振興、地域の活性化に貢献するため、多くの受講生をお待ちしております。地域の方はもちろん、学生及び教員等も受講可能となっておりますので、ご興味のある方はお問い合わせください。

Topic 1. 技術展示会情報(出展の御願い)

～イノベーションジャパン2013 - 大学見本市～



会期：平成25年8月29日(木)～30日(金)

会場：東京ビッグサイト(西展示棟 西1ホール)

JSTとNEDOによる、『我が国の産学連携を強力に推進するための、国内最大規模の産学マッチングの場』

大学等から創出された研究成果の社会還元を促進し、技術移転並びに産学連携への端緒となることを目的としたイベントであり、今回で10回目の開催となる。

イノベーションジャパン2013の出展希望者を募集します。会期中の参加が難しい場合は、当センターの教職員にて当日対応いたします。出展を希望される方は4月17日(水)までに申込書に必要事項を記入の上、研究国際部地域連携課(TEL:844-8555 mail:kt04@kochi-u.ac.jp)に提出いただきます。出展をご検討される方は、申込書をお送りしますのでご連絡ください。

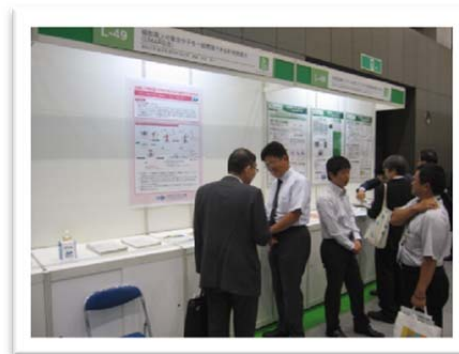
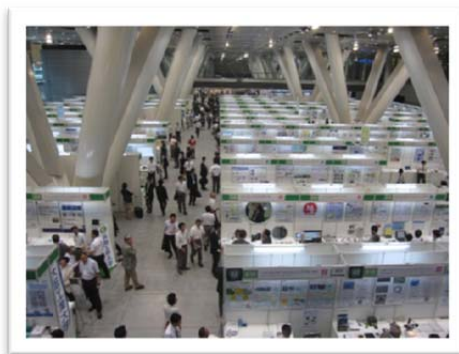
募集の概要

・展示分野

【情報通信】、【ライフサイエンス】、【医療】、【装置・デバイス】、【ナノテクノロジー】、【環境保全・浄化】、【低炭素・エネルギー】、【マテリアル・リサイクル】、【シニアライフ(高齢社会)】、【防災】

・JSTショートプレゼン

展示会場内にて5分程度で展示技術内容をPR



今後の出展予定

○BIO tech 2013 バイオ アカデミック フォーラム ～大学・国公立研究所による研究成果発表 フォーラム～

会期:2013年5月8日(水)～10日(金) 会場:東京ビッグサイト

○第4回化粧品開発展 アカデミックフォーラム (化粧品開発・研究に関する産・学 マッチング・研究発表の場)

会期:2013年6月26日(水)～28日(金) 会場:東京ビッグサイト

○アグリビジネス創出フェア (農林水産・食品産業分野の技術交流展示会)

2013年11月開催予定

○ものづくり総合技術展 (高知県内の製造業を中心とした企業の製品、技術の展示会)

2013年11月開催予定

○第35回工業技術見本市 テクニカルショウ ヨコハマ 2014 (神奈川県下最大の工業技術・製品総合見本市)

2014年2月開催予定

Topic 1. BIO tech 2013

国際バイオテクノロジー展/技術会議のご案内

BIO tech 2013 国際バイオテクノロジー展/技術会議


会期: 2013年5月8日[水]~10日[金] 10:00~18:00(最終日のみ17:00終了)
 会場: 東京ビッグサイト 主催: リードエグジビジョンジャパン株式会社

[来場をご希望の方へ](#)
[出展をお考えの方へ](#)

5月8日(水)~10日(金)の3日間、東京ビッグサイトにおいて、アジア最大規模のバイオ展示会である「BIO tech 2013 国際バイオテクノロジー展・技術会議」が開催され、世界各国のライフサイエンス関連企業、バイオベンチャー、研究機関等が最先端のバイオ技術を出展します。

高知大学からは「イノベティブマリンテクノロジー研究者育成」のテニユア・トラック教員3名が出展し、研究成果を発表する予定です。

高知大学
 総合研究センター海洋部門
 特任講師 片岡 正典

[お気に入りに登録 >>>](#) 
 アカデミック フォーラム




□頭発表日時: 5月8日(水) 13:30 ~ 14:00 □頭発表会場: ACA-3

発表タイトル: 海洋生物が生産する有機リン化合物の探索と合成

発表内容: 海洋の多様な生態の鍵となる有機リン化合物に注目し、生体組織や培養液から複数の化合物を同定した。その単離手法と化学合成、機能解析について報告する。

高知大学
 海洋分野
 特任講師 寺本 真紀

[お気に入りに登録 >>>](#) 
 アカデミック フォーラム




□頭発表日時: 5月8日(水) 12:50 ~ 13:20 □頭発表会場: ACA-7

発表タイトル: 海洋性の微生物資源の利用

発表内容: 海からの多様な新規細菌の取得に成功している。その中からリコペンに近い構造をもつ高親水性の新規カロテノイドや新規抗生物質を生産すると考えられる細菌などが得られた。

高知大学
 総合研究センター
 特任助教 ウラノバ タナ

[お気に入りに登録 >>>](#) 
 アカデミック フォーラム



□頭発表日時: 5月10日(金) 10:50 ~ 11:20 □頭発表会場: ACA-3

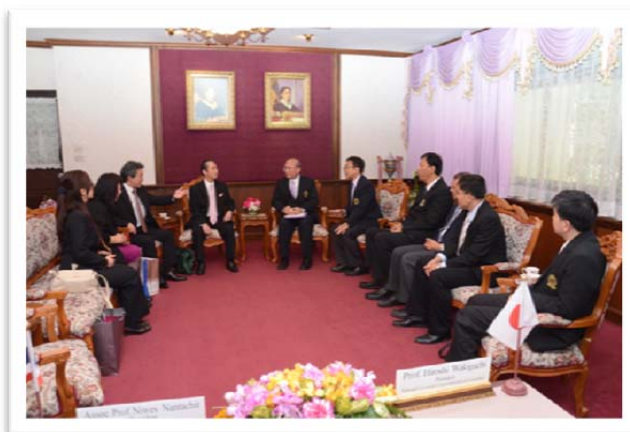
発表タイトル: 新生物活性天然物を産生する海洋微生物の探索

発表内容: 天然化合物は広く医学で使用されている。しかし、薬剤の耐性がある病原性株が報告されている。本研究は、新生理活性化合物を生産する海洋微生物の分離を目的としている。

Topic 1. チェンマイ大学(タイ)学術協定調印式

2月12日(火)に脇口学長、受田国際・地域連携センター長がタイのチェンマイ大学を表敬訪問し、学術交流協定の調印式が行われました。

同大学は、1964年にタイ王国チェンマイ市に設立された国立大学です。タイ北部地域で最重要大学の位置づけにあり、世界約30カ国170を超える大学との国際交流協定を締結しています。今回の協定締結により、農学部、理学部、医学部を中心とした全学レベルの交流活動の発展が期待されます。



Topic 2. 中国語センター主催による公開講座 ～「中国文化講座」開催～

高知大学中国語センター王永東客員講師による中国文化講座を1月22日(火)から2月19日(火)まで全5回開催しました。中国語センター開設に伴い、学生・教職員をはじめ地域の方々に中国の文化・生活を知り、中国に関する理解を深めてもらうことを目的とし、仕事と社会、恋愛と結婚、子育て、教育、食文化と幅広いテーマを設けて行われました。

- 参加者：
- 第1回(子育て)20名
 - 第2回(教育)16名
 - 第3回(仕事と社会)12名
 - 第4回(恋愛・結婚・家庭)14名
 - 第5回(中国の食文化)18名
 - 全5回参加者6名

